



社会福祉法人世田谷ボランティア協会
世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン

TAKE FREE
2025 年 1 月号
No.249

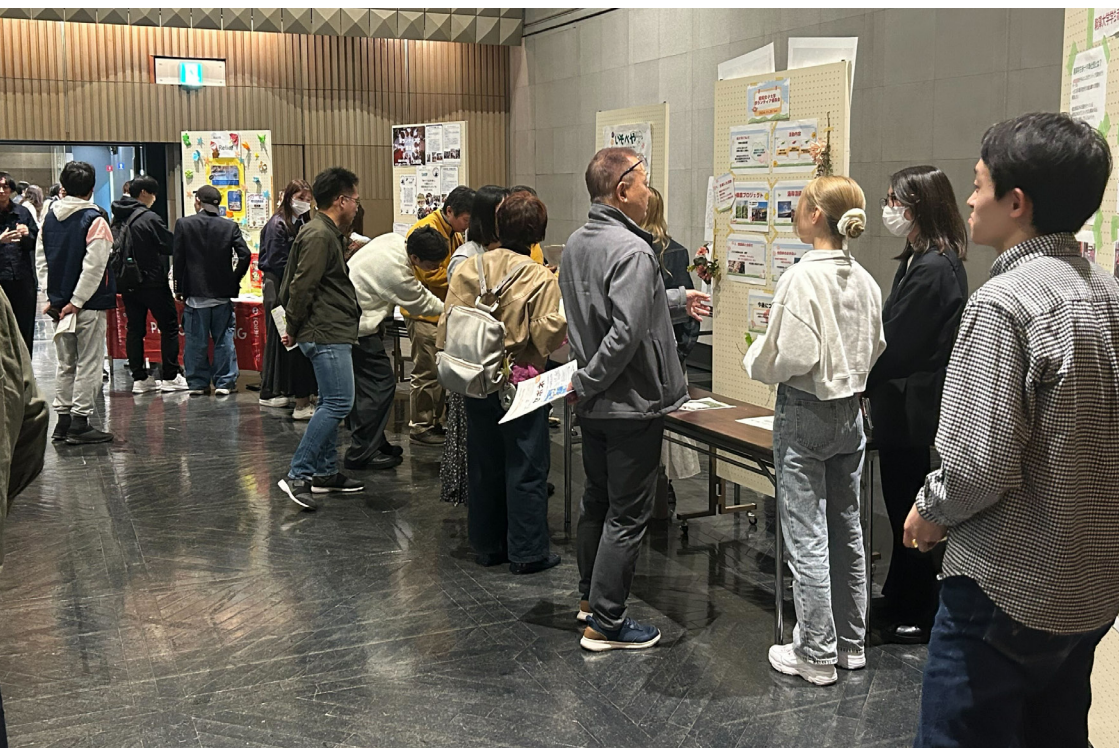
セボネ

タガヤ ランティア ネットワーク
Setagaya Volunteer Network

P.2-5

特集

せたがや学生ボランティアフォーラム
in 北沢タウンホール 開催



まちの市民力

P.6

～新たなスタート～ 世田谷ボランティア協会をささえる会



せたがやキラリ人

P.7

「食」で地域と人をつなぐ 遠藤 絵美 さん



おたがいさまビュー P.8-P.11

ボランティア募集、講座・イベント・その他 お知らせ
「第 8 回ごきんじょ市」を開催しました

せたがや学生ボランティアフォーラム in 北沢タウンホール 開催

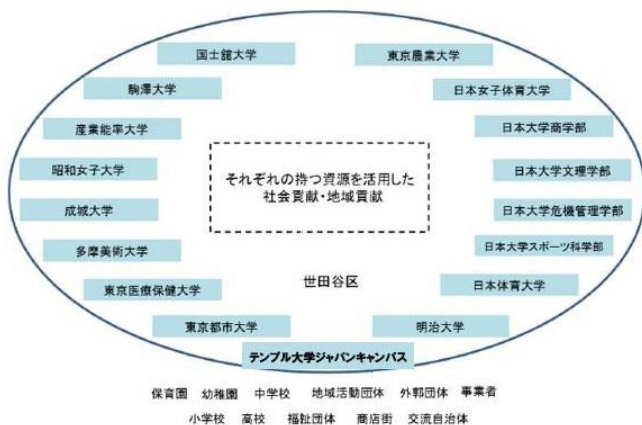
●「文教都市」世田谷

みなさんご存じでしたか。世田谷区には区内及び隣接エリア合わせて17の大学（学部）が立地し、全国でも有数の文教都市と言えます。各大学の専門領域は多岐にわたり、それぞれの独自性や強みを発揮して多様な教育や研究活動が行われています。

この恵まれた条件を活かすべく、区の多くの分野で大学との連携が進められています。また、各大学の取組みの成果は様々な形で社会貢献、地域貢献として世田谷区に還元されています。

●ボランティア活動に取り組む 大学生のネットワーク

多くの大学があることから、大勢の学生が世田谷で日々学んでいて、その中にはボランティア活動



世田谷区ウェブサイトより

に取り組む学生団体やサークルも数多く存在します。こうした活動団体と区が「せたがや学生ボランティアネットワーク」をつくり、大学生による地域でのボランティア活動を推進しています。

参加団体は年々増え、区内17の大学・学部のうち現在8大学から16の団体が参加しています。

●ネットワーク会議

この16団体が集まる会議を、年間を通して開いています。会議を通してそれぞれの活動に関する情報を共有し、地域の課題解決に向けて情報交換しながら、活動する上での困りごとや教えてほしいことなどについて意見交換して、互いの交流を深めています。この活動は、世田谷区（市民活動推進課）が主体となり、世田谷ボランティア協会も共に進めています。

こうした活動の一環として、区内で活動する学生ボランティア団体が集まって活動発表を行う「せたがや学生ボランティアフォーラム

ム」を毎年開催しています。今回のフォーラムにあたって、4月からネットワーク会議で企画や準備を続けてきました。

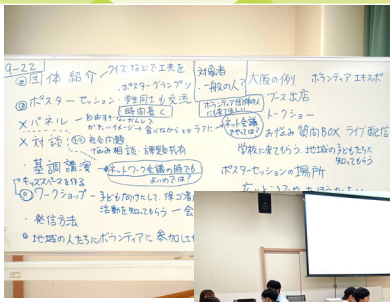
●フォーラムの企画を

まとめるまで

昨年度のフォーラムでは、地域活動団体の方との対談とポスターセッションを行って学生からも一



ネットワーク会議の様子



般参加者からも好評を得ました。この成果を踏まえ、学生主体の話し合いの中で、今回の全体構成を次のように練り上げました。

- ・ポスターセッションの規模を拡大して地域の方との対話の場を増やす
- ・パネルディスカッションに代えてワークショップを行い、幅広い世代の方に気軽に参加してもらえようとする



フライヤーの表面と裏面

・学生ボランティア団体の活動紹介を、前回に続き行う
・多くの団体が発表できるよう、ホールとホワイエを一体的に使い、前後半で内容を入れ替える

フォーラムの開催を告知して参加を呼びかけるフライヤーも、学生が主体となって制作しました。

●迎えたフォーラム当日

今回のセタがや学生ボランティアフォーラムは、11月30日(土)に北沢タウンホールで開催されました。大規模なフォーラムの開催には、多くの役割が必要になります。会場設営や誘導案内、活動発表やワークショップ運営、司会やタイムキープ、照明、写真撮影など、日の当たる部分も縁の下の力持ちの役割もあります。どの役割も学生たちが主体的に担って、大いに力を発揮しました。

ホールで各団体の活動発表とポスターセッションが、入口近くのホワイエでワークショップが行わ

れ、学生と一般あわせて約100名が参加する盛況となりました。

●活動発表

当日は、6大学11団体がそれぞれの活動内容をステージとポスターセッションで発表しました。当日の様子を写真で紹介します。



ステージで活動発表



ポスターセッションで参加者と交流



フォーラムツリーにたくさんの思い



ごみ分別ゲームにチャレンジ



ボランティア適性診断



SDGs カードゲームの様子

●ワークショップ

フォーラムとしては初めての取り組みとなったワークショップ。中には複数の団体が合同で行うプログラムもあり、団体相互の連携の機会となりました。

- ・ごみ分別ゲーム
- ・献血呼びかけ体験

- ・災害クイズ
- ・SDGs カードゲーム
- ・遊びでつながる広場
- ・フォーラムツリー

中でも、「フォーラムツリー」は、国連の提唱するSDGs（持続可能な開発目標）の実現にどうやって貢献していくか、参加者が葉っぱに見立てた紙にしたためて貼るプログラムです。終了時には、みんなの思いがたくさんの葉となって繁った樹に成長しました。

当日は、来場者に「ボランティア適性診断」シートを配り、参加者の関心にあった活動分野を（遊び心をまじえて）提案する試みも行いました。

●フォーラム参加者の声

参加した学生の声を紹介します。前向きな意見が多く寄せられ、学生にとってフォーラムが有意義な機会になったことが伺えます。「ボランティアの力を必要としてくれる方がいることを実感した」



参加団体のみなさんの集合写真

「他団体との交流を通して大いに触発され、もっと輪を広げていきたいと思った」
 「団体、企業、NPO法人など多くの方と話ができ、今後の活動への気づきを得た」
 「来場者の心をつかむブースづくりを学び、プレゼンスキルを高める機会になった」
 「学生から学びを得ている社会人の方も含めて、より一層有意義な空間になっていると感じた」

活動発表団体と主な活動（発表順）

- ・ 児童教育研究会（国士舘大学）
世田谷 ASOBO の活動
- ・ ENVO（昭和女子大学）
女川町、梅丘災害を学ぶ会、三軒茶屋町会等と連携した活動
- ・ 学生国際ボランティアグループ Salamat "A"
（日本大学文学部）
フィリピンとの交流支援
- ・ きずな International（明治大学）
農業、子ども食堂、ごみ拾い
- ・ ぱれっと（明治大学）
環境美化、子ども支援
- ・ のえる（明治大学）
チャリティーサンタ、児童館ボランティア
- ・ 駒澤大学学生赤十字奉仕団（駒澤大学）
献血呼びかけ、東京マラソンボランティア
- ・ ボランティア委員会（昭和女子大学）
援農、海岸清掃、子ども食堂
- ・ ボランティアサークルいそべや（東京農業大学）
マルシェ、ごみ拾い、イベント協力
- ・ SHIP（明治大学）
建築ボランティア、援農、子ども食堂、ごみ拾い
- ・ Relief（明治大学）
明大前商店街との連携

ワークショップ参加団体

- ・ 駒沢大学ボランティアサークル（駒澤大学）
- ・ TUJ COSA（テンプル大学）

● せたがや学生ボランティアネットワークのこれから

前回のフォーラムでは、学生団体とつながりたいとの希望が地域活動団体からあり、ボランティア

一般参加者からも、「学生の活動の幅広さに感動した」「若い力と地域との連携に期待が高まった」など、高く評価する意見が数多く寄せられました。

協会が仲介することで連携が実現した事例もありました。今回も既に同様の声が寄せられています。
 「せたがや学生ボランティアフォーラム」に多くの方が参加いただくことで、大学生がより一層地域とつながる機会となります。学生が毎年入れ替わっても、学生のネットワークや地域との連携が続き、深化していけるよう、世田谷ボランティア協会も、区とともにこれからも伴走していきます。

～新たなスタート～ 世田谷ボランティア協会をささえる会



総会前の柚子胡椒つくり

昨年11月30日、「ささえる会」の総会が開かれました。コロナのためになかなか会う機会のなかった会員が顔を合わせ、久しぶりに大鍋いっぱいの手作りのおでんを囲むという懐かしい光景が再現しました。総会に先立ち「柚子胡椒」作り。福岡の黒木町から無農薬の農産物を世田谷に届けてくださる会員の小川さんの指導で簡単な辛くて美味しい柚子胡椒の出来上がり。梅の効用、ヨモギ団子など「食」を仲立ちに、会員が顔見知りになるのがささえる会でした。地方と都会が食で直接につながりました。

この日は「ささえる会」の新たな出発の日でもありました。ボランティア協会の1981年に誕生した時に、協会が開くボランティア市民活動をささえ、ボランティアの窓口として設けられたのが「ささえる会」でした。手足を動かすのもボランティアなら、会費により事業をささえるのもボランティア。

協会の組織形態も変わり、協会自体に直接寄付をすることが出来る仕組みが整ったので、会はギアチェンジを図ることになりました。年会費によって支えてくださった方には、これからは協会に直接お振込みいただきたくお願いいたします。

「ささえる会」が担ってきたもう一つの大切な役割は交流活動。ささえる会の会長を務められた故牟田悌三さんが「みんなが思わず参加したくなるような楽しいことをやりましょうよ」と言われたことが根底にあります。

下馬一丁目の「ボランティアファーム」で緑や花を育て、ご近所つきあいも育てている「みどり企画」。会員も増えました。ドキュメンタリー映画を鑑賞しながら、

「ところみ学園」の美味しいワインと手作りの料理で集う「映画とワインの夕べ」に参加して協会を知った方も多いのです。「太平農園401年目の四季」を上映した時は、無農薬野菜の料理が足りなくなるほどの参加者でした。5年前にアフガニスタンで非業の死を遂げた中村哲さんの記録映画は三回に分けて上映するほどの盛況でした。

センターの正面に吊るされた干し柿も毎年の風物詩。月一回の「ボラセン」つた「ごえ広場」には近所のみなさんがたくさん集まりました。12月の大忘年会は手作り料理を囲みながらセンターの利用者がお互いに知り合う貴重な場でした。豊かな交流の時間と場を共有したという思いでいっぱいです。

牟田さんの後、会長を引き受けてくださった永井憲一さんが、10月に旅立られました。「ボランティア事業をささえるには、区民にもっと協会の活動を知らせなくては」という先生の言葉を胸に刻み、形態は変わっても交流と親睦を続けていきたいと願っています。

せたがやキラリ人

世田谷区を中心に活躍する
キラリと光る素敵なたたををご紹介します
取材・星野 弥生



「食」で地域と人をつなぐ

遠藤 絵美さん
えんどう えみ

「NENEで、ある日「梅ヶ丘のパブリコでランチを作ります。来てください」。別の日には「わが家のガレージで芋煮会をやります。ぜひ!」とのお誘い。知り合ってから何か月も経たないのににまめにお誘いをいただき、のこのこと出かけていって、は、「絵美ワールド」に集う若い人たちとの新たな世界が開けています。

初めて絵美さんに会ったのは「人間の生と性を学ぶ会」でした。小学校4年生の息子さんが不登校で、区内のフリースクールに通っているに参加メンバーに紹介されました。その後、面白そうなイベントのお知らせが次々と届くようになった。どんな人なのだろう? 「料理」「不登校の親たちの

会」「近所」など、さまざまなキーワードが浮かび上がってきた。どうも、その「核」にあるのは食べ物らしい……。

絵美さんは、もともと大手航空会社のキャビンアテンダントでした。30代になる手前ですっぱりと辞め、「これからはやりたいことをしよう」と決心。小さい時から料理やお菓子作りが大好きだったという絵美さん。「栄養士の資格を取る」と、社会人を経験した人のためのキャリアコースのある女子栄養短大を受け、入学できました。世田谷に夫の実家があった縁で、上町に住み専業主婦に。夫の転勤で福岡で3年暮らし、息子さんがその時に不登校になりました。「一回も学校に行かず、世田谷に戻ったのが1年生の11月。母と子で家にこもっていた時は辛かったです。どこか行ける場所がないかと調べたら希望丘にほつとスクールがあったので、3年生の秋から行っています」。

絵美さんは、得意な料理を活かした「場づくり」を次々と展開。

例えば11月のある日。「行き渋り不登校 学校外で学ぶ子を持つ保護者のための おしゃべり会 刺繍の会」を、特別養護老人ホーム内のカフェで開催。ビーズでイヤリングを作りながら、何気ないおしゃべりをします。「頭がいっぱいになると、こういう単純なことをやるのがいいんです。自分のためでもありますね」。

社会福祉協議会で、人の集う「場」を紹介してもらったり、ケアワーカーの集まりである「せたがふエ」に行ったり、関心のある地元のコミュニティの情報を得たりと、積極的にどんどん「居場所」を開拓しています。

まずは自宅が地域の「居場所」。前述の自宅のガレージでの芋煮会には、すぐ近くの桜小学校の親たち、不登校の子を持つ親たちがお鍋を囲んで、一緒にランチをし、手作りのお菓子でお茶をし、話題も持ち寄っておしゃべり。こういう「顔の見える関係」が一番の「地域力」。そしてその場にはいつも「食」があります。

【急募】3歳の女の子の保育園のお迎えをサポートして下さる方を探しています！

お母さんがこれまで一人で頑張ってきましたが、病気を患ったため、これ以上無理ができなくなってしまいました。女の子は、機関車トーマスや乗り物が大好きな明るいお子さんです。送迎の内容は、保育園にお迎えに行き、おしゃべりを楽しみながら20分程度の道のりを帰ってきていただくものです。送迎時は徒歩ではなく、用意してあるベビーカーに女の子を乗せるので安全です。週1回でも手伝っていただくと助かります。

- 日時／月・水・金の17時～18時15分の間に保育園までお迎えし自宅まで送迎
- 場所／東急大井町線等々力駅近辺から上野毛駅近辺 ●条件／女性、交通費は出ません。
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー TEL：03-3707-3528
メール：tamabora@otagaisama.or.jp

【急募】学校まで付き添ってくれるボランティア募集

小学5年生の男子が、登校時間には通うことができず、自宅（奥沢）から玉堤小学校まで、付き添ってくれる方を求めています。自宅を10時に出て電車とバスで学校に10時45分に着くように行きます。お母さんは働くことになり、送ることが難しくなりました。明るく素直なお子さんです。優しい方をお待ちしています。詳しくはお問い合わせください。

- 日時／月～金（週1回でもOK）10時～10時45分
- 場所／自宅（奥沢）から玉堤小学校
- 交通／電車とバスを利用 ●条件／交通費支給（上限500円程度）
- 問合せ／玉川ボランティアビューロー TEL：03-3707-3528
メール：tamabora@otagaisama.or.jp

視覚障害のある方のお風呂掃除をして下さる方募集

一人暮らしで視覚障害のある60代の男性が、自宅のお風呂掃除をするのに困っています。足元が滑りやすいお風呂場での掃除は1人だと危険なためボランティアの方がお手伝いして下さると大変助かります。当日は塩素系のカビ取りなどが目に入る恐れがあるため、ゴーグルを着用していただきます。ご本人はとても気さくで優しい方です。経験や資格は問いませんので目の見えない方の役に立ちたいと思う方、ぜひ世田谷ボランティアセンターにお問合せください。

- 日時／応相談 ●場所／自宅 ●交通／東急世田谷線若林駅徒歩3分 ●条件／報酬あり
- 問合せ／世田谷ボランティアセンター TEL：03-5712-5101
メール：obata@otagaisama.or.jp

学校生活サポーター募集

八幡山小学校で、児童のサポートをして下さる方を募集しています。お願いしたいサポートは、主に授業中の見守り、休み時間の安全見守り、給食時の見守り等の予定ですが、対応する児童に応じてお願いする内容や対応は少しずつ違いがあります。対応していただく前に担当者と確認を行います。曜日や時間は、相談可能です。詳しくはお問合せください。※世田谷区の学校生活サポーターに登録していただきます。

- 日時／平日の登校時刻から下校時刻まで（曜日時間は応相談）
- 場所／世田谷区立八幡山小学校（世田谷区八幡山1-14-1）
- 交通／京王線八幡山駅下車徒歩約14分 ●条件／性別不問。謝礼有。交通費支給
- 問合せ／世田谷区立八幡山小学校 担当 副校長
TEL：03-3302-2618（平日8時～18時）

もっと語ろう不登校 part.296

これまで 30 年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お問い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。ZOOM 参加をご希望の方はメールをしてください。

●日時／1月11日(土) 14時～

●場所／人の泉・オープンスペース"Be!"(世田谷区赤堤 1-15-13)、または ZOOM (オンライン)

●交通／東急世田谷線山下駅下車徒歩 6 分

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第 3 分科会「もっと語ろう不登校」担当 佐藤
TEL : 090-9248-1355 メール : yukinoki11513@gmail.com

2/1(土)北沢ボランティアビューローお得意市開催&ボランティア募集!

北沢ボランティアビューローでお得意市を開催します! 婦人服、紳士服、子ども服、雑貨、食器、靴、アクセサリ等々、バザー品をオール 100 円で提供いたします。皆さまのご来場お待ちしております。また前日、当日お手伝いしてくださるボランティアも募集します。2～3 時間でも大丈夫です。詳しくは北沢ボランティアビューローにお問い合わせください。
<バザー開催日>

2月1日(土)10時30分～15時

●場所／北沢ボランティアビューロー 1 階(世田谷区梅丘 1-8-9) ※駐車場はありません
※提供品は受付いたしませんので、ご了承ください。

<ボランティア募集>

①商品陳列／1月31日(金) ②バザー当日の販売・片付け等／2月1日(土)

●問合せ／北沢ボランティアビューロー TEL : 03-3420-2520
メール : kitabora@otagaisama.or.jp

東京の全員就学 50 年&東京都寄宿舍連絡会 40 周年記念フェスティバル

障都連(しょうとれん)は、障害者と家族の生活と権利を守り、要求を実現させるために障害の種別を越えて運動を進める団体です。この度、「東京の全員就学 50 年記念行事実行委員会」を立ち上げ、この 50 年の障害児教育、特別支援教育の歴史、今後の展望を学び、語り、楽しむ行事を、東京都寄宿舍連絡会 40 周年とともに祝い、「全員就学 50 年」と「東京都寄宿舍連絡会 40 周年」共催の記念行事を企画しました。地域のみなさんも一緒に誰もが楽しめるフェスティバルです。みなさま、光明学園でお会いしましょう。

●日時／2月9日(日) 10時～15時

●場所／東京都立光明学園(世田谷区松原 6-38-27)

●交通／小田急線梅ヶ丘駅下車徒歩約 5 分

●問合せ／東京の全員就学 50 年記念行事実行委員会
メール : shotoren@shogaisha.jp

AI システムによるマッチングサイトのお知らせ

「趣味や技術、経験を生かしたい」「地域で活動したい」という、ボランティア活動をしたい方の経験や意欲などと、サポートを求める方や団体などを、東京大学先端科学技術研究センターが開発した AI システムによるマッチングサイト(世田谷版 G B E R 「ジーバー」)で結び付け、ボランティア活動を支援します。

詳細は右記二次元コードからご覧ください。



上記掲載記事は 12 月 10 日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

防災シンポジウム「マンション防災への取り組み」のご案内

2025年1月18日(土)に、三茶しゃれなあどホールにて2024年度防災シンポジウムを開催します。今回のシンポジウムは「マンション防災への取り組み」がテーマです。区民の3人に1人はマンションなどの集合住宅に住んでいます。耐震化が進む一方で、設備や管理体制、住民連携など特有の課題もあります。マンション防災について共に考えましょう。

<防災シンポジウム「マンション防災への取り組み」あなたのマンション生活、大丈夫?>

●日時/2025年1月18日(土)13時30分~15時30分(13時開場)

●場所/三茶しゃれなあどホール 集会室オリオン(世田谷区三軒茶屋1-41-10)

東急田園都市線三軒茶屋駅(南口A)から徒歩3分。昭和信用金庫三軒茶屋支店5階

※2024年6月に移転していますのでご注意ください。

●募集/先着100名 入場無料

●申込/1月17日(金)正午までに、右記二次元コードから、
または問合せ先にご連絡ください。

※手話通訳・ひととき保育(先着5名)有り。要事前予約。

なお、お申し込み時に自動返信メールが届かない場合はお電話でお問い合わせください。

●問合せ/せたがや災害ボランティアセンター

TEL:03-5712-5101



2/8(土) 玉川ボランティアビューロー・バザー開催&バザーボランティア募集!

玉川ボランティアビューローでは、恒例のバザーを開催します。収益はボランティア活動推進費として大切にに使わせていただき、「おたがいさま」で結ばれた地域づくりに役立てます。皆さまのお越しをお待ちしております!また、バザー提供品およびバザーボランティアも募集中です!

<バザー開催日>

2月8日(土)10時30分~14時

●場所・交通/玉川ボランティアビューロー(世田谷区玉川2-1-15、玉川税務署となり)

※駐車場はありません

●提供品受付/1月14日(火)~1月20日(月)10時~16時(日曜除く)

※玉川ボランティアビューローに直接お持ちください。

※新品または新品同様の婦人服、子ども服、バッグ、アクセサリ、靴、贈答品、食器、雑貨のご提供をお待ちしております。紳士服・おもちゃ・書籍など受付できないものもありますので、詳しくはお問い合わせください。

<ボランティア募集>

①値付け/

1月17日(金)、22日(水)、29日(水)いずれも10時15分~12時15分

1月24日(金)、28日(火)、30日(木)いずれも13時~15時

※日程は変更する場合があります。詳しくはお問い合わせください

②会場設営/2月3日(月)10時30分~12時30分

③当日の販売・片付け等/2月8日(土)10時~15時

●問合せ/玉川ボランティアビューロー TEL:03-3707-3528

メール:tamabora@otagaisama.or.jp

市民活動・NPO相談

世田谷区内で活動を始めた方や、すでに活動している方を対象に団体、個人を問わず、グループ・団体、法人の立ち上げや運営に関する基礎的な相談・情報提供を行っています。相談をご希望の方はお問合せください。また会計、税務、契約、社会保険、雇用、法律の専門相談も行っています。(原則として事前予約制です)

●問合せ/最寄りのセンター、および各ビューローにご連絡ください。電話番号は裏表紙参照、専門相談はセンターにお問い合わせください。

「セボネ」は皆様の声を集めて制作しています。ボランティア募集、イベントなど情報をお寄せください。ホームページから情報を投稿できます。

世田谷ボランティア協会福祉事業部常勤職員募集（作業療法士、訪問介護員、支援員）

社会福祉法人世田谷ボランティア協会は、障害のある方の生活を様々な制度を利用しながら支援し、障害による困りごとを共に考え、支えあいの窓口となるよう5つの事業を運営しています。今回2つの事業で常勤職員を募集します。

ケアセンターふらっと

【職務内容】 中途障害の方、高次脳機能障害のある方が中心のデイサービスで、その人に合わせた支援をします。

【必要条件】 作業療法士、介護福祉士、社会福祉士のいずれか必須。普通自動車運転免許を所持し、日常的に運転のできる方（AT限定可）

【就業場所】 世田谷区下馬 2-20-14（東急田園都市線三軒茶屋駅徒歩12分）

【勤務日】 月曜日から土曜日までのシフト勤務で週5日、8時30分から17時30分まで（休憩時間1時間含む） 休日：毎週日曜日と他1日、祝日、夏季・年末年始

【待遇】 198,500円 ～ 279,700円（定額手当含む）

※学歴、職務経歴により上限金額を超える賃金を支払う場合あり。

賞与：2回（2023年度実績4.4カ月）。

介護業務推進手当：年1～2回支給（10～22万円）

【担当】 高波・和田 TEL：03-5712-5105

ケアステーション連

【職務内容】 高齢者や障害をお持ちの方への訪問介護と、サービス提供責任者としての業務を行います。

【必要条件】 介護福祉士が必須。

【就業場所】 世田谷区下馬 3-22-13（東急田園都市線三軒茶屋駅もしくは駒沢大学駅徒歩各15分）

【勤務日】 月曜日から土曜日までのシフト勤務で週5日、8時30分から17時30分まで（休憩時間1時間含む） 休日：毎週日曜日と他1日、祝日、夏季・年末年始

【待遇】 198,500円 ～ 279,700円（定額手当含む）

※学歴、職務経歴により上限金額を超える賃金を支払う場合あり。

賞与2回（2023年度実績4.4カ月）。

介護業務推進手当：年1～2回支給（10～22万円）

【担当】 石崎 TEL：03-6805-4716

「第8回ごきんじょ市」を開催しました！

11月17日に、地域障害者相談支援センターぽーとせたがや（社会福祉法人世田谷ボランティア協会）主催、「第8回ごきんじょ市」を三軒茶屋ふれあい広場で開催しました。「ごきんじょ市」は、年齢、障害、立場も関係なく、「ごきんじょ」の皆さんが集まって知り合うことで、『おたがいさま』の気持ちが行きかう「まんまるなごきんじょ」が生まれたらいいという思いから始まりました。

当日は、天候にも恵まれ、穏やかな雰囲気ですスタートしました。正午を回ったところから、多くの方が訪れ、それぞれのブースで交流が生まれました。前日と当日で80名を超えるボランティアの方々にお手伝いいただき、無事に開催することができました。



写真左）開催中の様子

写真下）ボランティアの皆さんと記念撮影



上記掲載記事は12月10日時点の情報です。
変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点



相談・お問い合わせ先

- ボランティアについて ▶ 【世田谷ボランティアセンター、各ボランティアビューロー】
災害ボランティアについて ▶ 【せたがや災害ボランティアセンター】
リハビリについて ▶ 【ケアセンターふらっと、ケアセンター with】
訪問介護について ▶ 【ケアステーション連】
介護プランについて ▶ 【ケア相談センター結】
障害について ▶ 【ぽーとせたがやスペース ココカラ。】

ご意見・ご感想等お寄せください

皆さまのご意見・ご感想などをお待ちしております。「こういったボランティア情報が読みたい！」などもございましたら、お気軽にお寄せください。



協会ホームページ、
Facebook、Instagramは
こちらの二次元コードから
ご確認ください！



ホームページ



Facebook



Instagram